

2021年10月22日
おでかけ交通博 2021 オンライン版
説明用資料

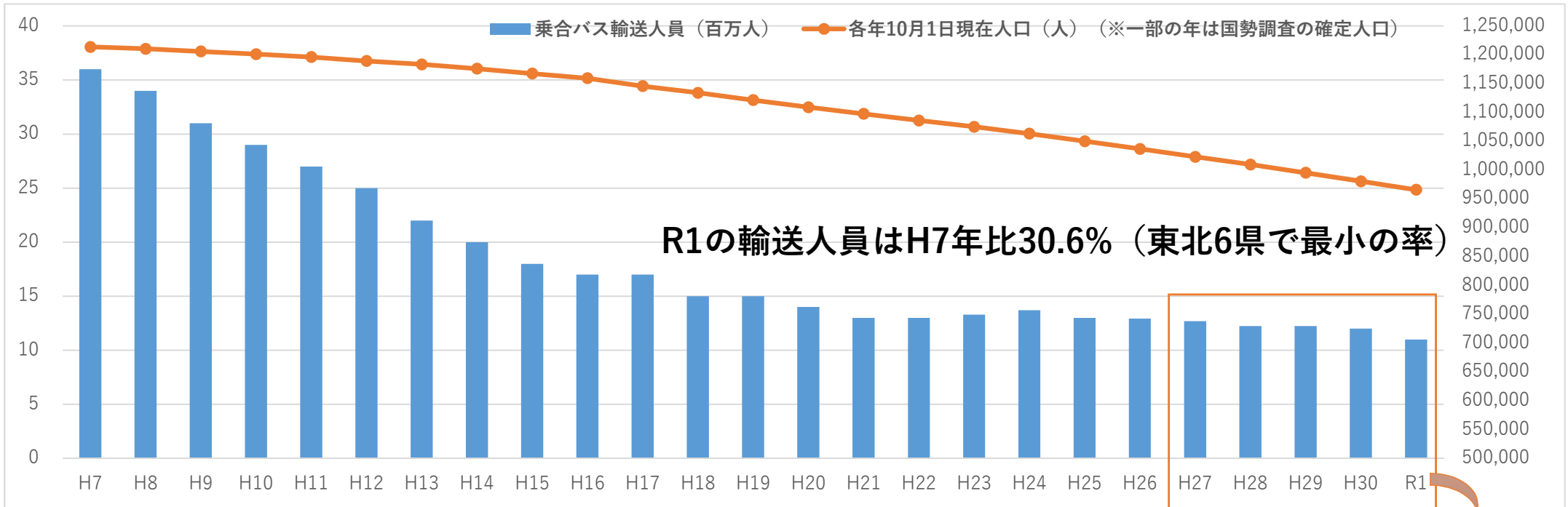
暮らしの足を支える工夫・コロナ禍への対応やポストコロナを見据えた取組

秋田県観光文化スポーツ部交通政策課
小松 勝統

秋田県の地域公共交通を取り巻く環境

【1. 乗合バス輸送人員と秋田県の人口】

※輸送人員は「図で見る東北の運輸」(東北運輸局)から、人口は秋田県年齢別人口流動調査 年次推移から。



【3. 路線バス(生活路線)系統数 ※各年度9/30時点】

H27	H28	H29	H30	R1	R2
298	289	283	281	263	259

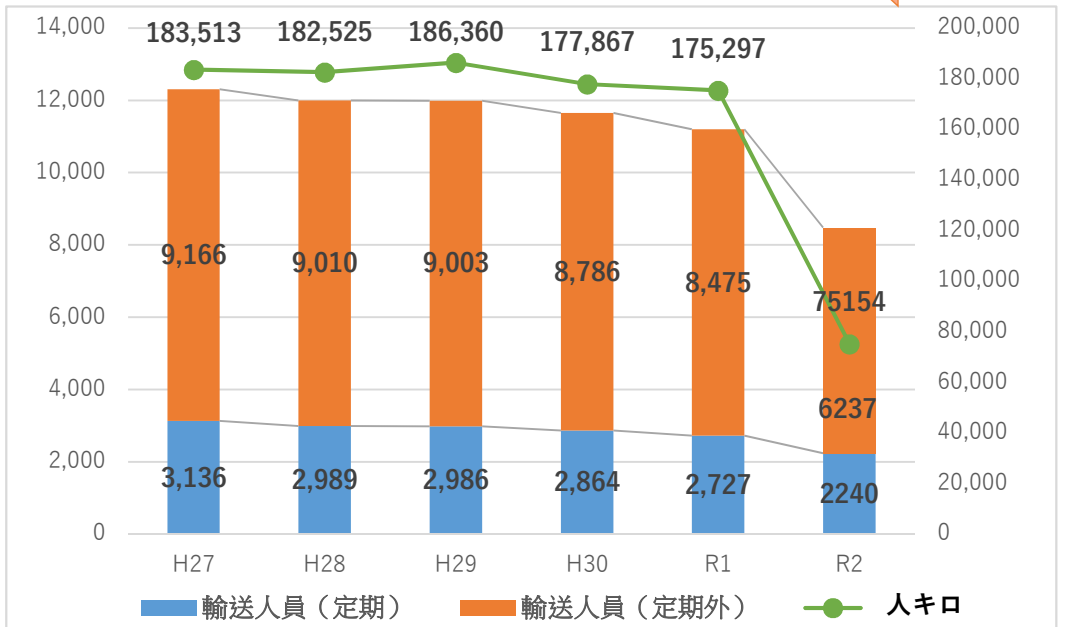
【4. 市町村における公共交通に対する支援額(百万円)】

H30	R1	R2
2,027	2,062	2,296

●2. はH27~R1は、自動車輸送統計調査 自動車輸送統計年報 営業用バス(乗合・貸切)都道府県別輸送量から。R2は同年報 営業用バス 都道府県別(支局別)・車種別輸送人員、輸送人キロから。なお、R2は、高速乗合は乗合に含み、定期/定期外については定期外に計上。

●3.、4. は県交通政策課調べ

【2. 乗合バス輸送人員等の詳細(千人)】



秋田県の地域公共交通の目指すべき方向性

1. 利用者減、維持コスト増など苦しい状況にある地域公共交通を持続可能で、活力あるものにする

2. 地域公共交通施策を担う市町村や、交通事業者の取組を促し、後押しして、創意工夫を促進させる

3. デジタル技術の活用推進などを通じて利用者にも交通事業者にもやさしい地域公共交通にする

4. コロナ禍で影響を受けた地域公共交通の事業継続、落ち込んだ利用の早期回復

地域公共交通活性化チャレンジ事業

【問題意識】

- 維持・確保も大事だが、真正面から“活性化(利用者増)”に取り組む必要
- 限りある予算、体制の中で、事業の推進、予算要求などの呼び水に

地域公共交通情報デジタル化事業

【問題意識】

- 県全体で進められることは、県が旗を振って推進する必要
- 激変を求めるのではなく、できることから着実に、段階を踏んで

新型コロナウイルス感染症対策

【事業継続】

- 保有する車両数に応じて支援金を交付(R2、R3)

【利用回復】

- 貸切利用についてその料金を最大で半額割できる補助(R2、R3)

地域公共交通活性化チャレンジ事業

○ 利便性向上や利用促進、運行の効率化等に向けた、モデル的・先進的な取組を支援

取組事例

① ICT技術の活用による利便性向上や収支の改善

- AIオンデマンドシステムの導入
- MaaSの導入に向けた調査研究
- バスロケーションシステムの導入

② 連携による地域住民の利用促進

- 商工団体等と連携した、クーポン発行等による利用促進
- 乗り継ぎ拠点(待合スペース等)の多目的施設化
- 免許返納者の利用を促す運行形態の導入

③ 連携による訪問客の利用促進

- 二次アクセスの向上に向けた路線再編や運行形態の変更
- 多言語対応などの環境整備

事業費の半額を補助
(最大300万円)

2つ以上を組み合わせ
させた取組



秋田市



1. 買物タクシー

高齢者の移動手段確保ため、タクシー会社及びスーパー等と連携した「買物タクシー」を実証運行。

2. バスロケーションオープンデータ化

バスの位置情報を公開し、乗換情報を提供。GPS端末等は市販部品を購入・組立て、オープンソース化されているプログラムを活用し、導入費用・運用費用を安価に。

秋田県立大学(由利本荘市)

1. タブレットによる乗り逢い交通予約システムの運用

2. タブレット・モバイルWi-Fi機器の貸し出し

インターネット未契約、スマホ・タブレット等未所持世帯にタブレット・モバイルWi-Fi機器の貸出。

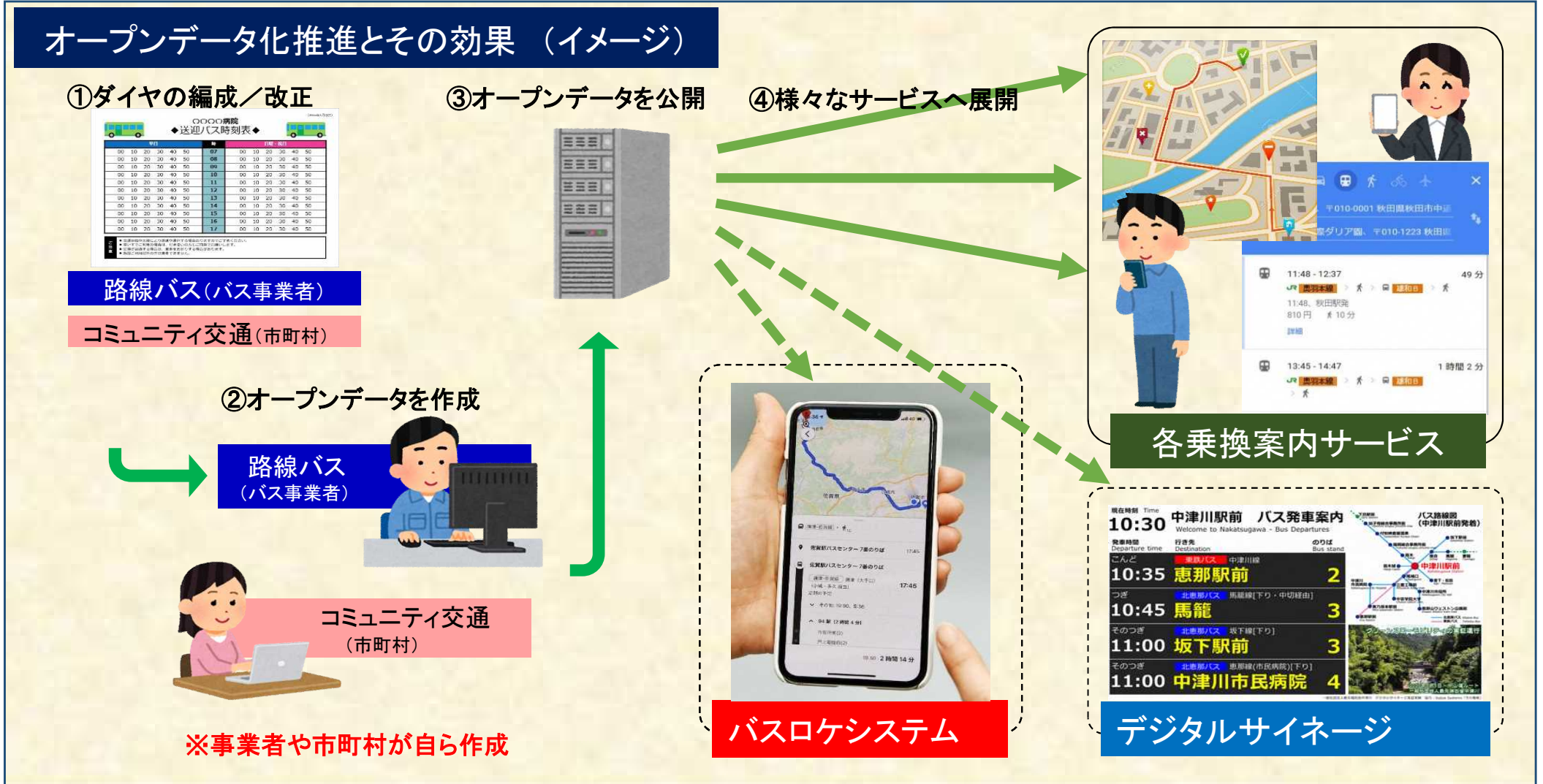


3. 相乗りシステムの構築

予約確定時点で登録利用者全員に対し、相乗りを呼びかけるメッセージを通知。

地域公共交通情報デジタル化事業

○ オープンデータ化、バスロケ、デジタルサイネージの導入など、デジタル技術を活用したサービス向上策を全県で推進。



【1年目】

- オープンデータ化の推進
- バスロケ、デジタルサイネージの効果検証

【2年目】

- オープンデータ化の定着
- バスロケ、デジタルサイネージの実証実験

【将来】

- バスロケ、デジタルサイネージの普及
- AIオンデマンド交通の普及、MaaSの実装

地域公共交通に係る施策展開のイメージ

✓ 持続可能で、活気ある地域公共交通

✓ 地域の創意工夫あふれる地域公共交通

✓ デジタル技術の活用による、利用者・事業者
双方にとってやさしい地域公共交通

現在地



各地域、事業者の
創意工夫

● 地域公共交通活性化チャレンジ事業

● 地域公共交通情報デジタル化事業

バスの運行支援等を通じた地域公共交通の確保・維持

コロナ禍からの回復

確保・維持

活性化のための土台作り

活性化

地域公共交通の状況